



**男女共同参画気づき
うなずきフェスティバル**
1月23日(土) ヴィーブル
で開催されました。
NPO法人ファザリング
ジャパン代表の安藤哲也さん
の講演の他、男女共同参画川
柳の表彰等がありました。

**都市計画決定に関する
説明会**
2月16日(火) 中央公民館
で、熊本都市計画区域の区域
区分の変更に伴う用途地域の
変更、土地区画整理事業及び
地区計画
に関する
説明会が
開催され
ました。



竹迫初市
3月6日(日) 天候不順の
ため、ヴィーブルで開かれま
した。
江戸時代に起源がある伝統
の行事です。ヴィーブル子ど
も劇団の公演もありました。



小中学校卒業式
3月11日(金)各中学校
(618人)3月24日(木)各小
学校(672人)で、卒業証書
授与式が行われました。



新商品発表会
3月29日(火) 六次産業化
及び農工商連携新商品等開発
事業の新商品発表会が合志庁
舎で行われました。



議会の動き

- (1月) (1月～3月)
- 5日 議会広報調査特別委員会 第1回臨時会
 - 8日 全員協議会 第23回熊本県市議会議員研修会(熊本市)
 - 14日 議会広報調査特別委員会
 - 19日 議会広報調査特別委員会
 - 20日 第2回臨時会 全員協議会
 - 21日 財政調査・研究特別委員会
 - 22日 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会(給食施設等小委員会)
 - 25日 議会広報調査特別委員会
 - 26~28日 議会広報調査特別委員会行政視察研修(池田市、明石市、高槻市)
- (2月)
- 1~3日 議会運営委員会行政視察研修(長岡京市、八尾市、枚方市)
 - 5日 平成21年4月1日施行 合志市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例に関する特別委員会
 - 8日 埼玉県東松山市議会より「行政評価について」視察研修
 - 9日 全国市議会議長会第100回評議員会(東京都)
 - 12日 平成21年4月1日施行 合志市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例に関する特別委員会
 - 15日 議会運営委員会
 - 17日 新潟県三条市議会より「合志市総合センターヴィーブルについて」視察研修
 - 19日 全員協議会
 - 議会広報調査特別委員会
 - 議会運営委員会
 - 第1回(3月)定例会開会
 - 全員協議会
- (3月)
- 4日 財政調査・研究特別委員会
 - 議会広報調査特別委員会
 - 15日 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会 全員協議会
 - 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会(学校施設等小委員会)
 - 18日 第1回(3月)定例会閉会
 - 全員協議会
 - 23日 議会運営委員会

平成28年第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
6	10	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
	13	月	本会議	一般質問
	14	火		
	15	水		
	20	月	本会議	質疑、委員会付託
	21	火	常任委員会	付託事件の審査
	22	水		
	30	木	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は、変更になる場合があります。
議会だよりに対するご意見は、合志市議会事務局へ
電話 096-248-1111(代表) 248-2038(直通)
Fax 096-248-2047 メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

新市建設計画と
ハンセン病問題

上田 欣也 議員



上田 新市建設計画にある「ハンセン病問題を柱とした人権問題に対する人権教育」とは具体的にどのようなものか。

人権啓発教育課長 ハンセン病問題に対する歴史や病気について正しく理解することで、あらゆる差別や偏見に対しての誤りに気づき、自分自身で考え行動ができるよう、あらゆる機会を通して正しい知識の普及啓発に務めることが人権教育へとつながっていくと考える。

上田 菊池恵楓園には、これまでどのへ何人の患者さんがいたのか。

人権啓発教育課長 明治42年の開所以来現在まで、のべ5万7299名が療養されている。

上田 古くは、合志村、合志町、そして今は合志市の住民である。その歴史を市民一人ひとりが学び、そのことを地元の歴史記憶として残していくべきではないか。かえでの森こども園はその後どうなっているか。

子育て支援課長 昨年10月社会福祉法人の設立認可を受け、今年4月か

ら認可保育所として運営される。

上田 市はこれから菊池恵楓園にどう関わっていくのか。

福祉課長 協議会の継続をはかり、納骨堂の問題、他所者の意向を形にするために、国・県・園・自治会と連携して、所在市としてしっかりやっていきたい。



菊池恵楓園内の旧跡跡地

上田 「交通安全都市宣言の市」が出された経緯は。

総務課長 平成18年第1回定例会で非核平和都市宣言、暴力追放都市宣言と同時に採択されたもの。

上田 細かいところまで検証して交通安全運動に務めるべきでは。

総務課長 高齢者による事故の多発、自転車の違法行為などが問題になっているので、すべての世代への安全教育を推進していきたい。

百条委員会終了!

「平成21年4月1日施行 合志市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例に関する特別委員会」調査報告

平成27年3月21日の熊日新聞に掲載された、平成21年の議員報酬改正に関する大住議員(当時市長)の「議員報酬を上げたときの当事者として、あの時は議会対策で上げざるを得なかった」との発言と、平成24年11月29日の自身のブログにおける「私は8年間首長をさせていただきましたが、常に市議会対策には気を配っていました。日ごろの付き合いで市議会とねんごろになりなななあのきく議員、つまり与党議員を過半数持つて

いけばいろいろ議論があっても腹の中では最後は採決で決まるからとかをくくっていました」との発言について、その発言の関連性と議会対策という言葉の真意、及び報酬改正時に市長と議員相互に不当要求や不正がなかったかを調査する特別委員会は、3月14日に最終報告を提出し、3月18日定例会最終日に委員長報告をおこなった。

調査期間 平成27年6月26日～平成28年2月12日(委員会開催計10回)

委員会最終結論(抜粋)

本市議会議員として、議員1人ひとりが市民全体の代表者としてその使命と責務を認識し、自らの人格と倫理の向上に努め、市民の信頼に応えるべく日夜努力している矢先、今回、議会と執行部が癒着しているかのような誤解を招く「なななあのきく議員」、また平成21年4月に行われた議員報酬改正時にあたかも不正な取引でもあったかのような疑念を抱かざるを得ない「議会対策で上げざるを得なかった」という発言の事実が確認されたことは、まことに遺憾である。

参考人質疑応答の中で、大住氏の答弁には多々矛盾する点も伺えた。

しかし、「議会側から(議員報酬を)上げざるを得ないような圧力とか恫喝とか、働きかけ」については、きっぱりと否定され、その答弁内容から、一連の大住議員のブログや新聞に記載のあった内容について、本調査特別委員会では、議会からの圧力、また議会と市長との間に取引等は一切なく、問題の発言から推測されるような不正、不当要求は見受けられないものと判断した。

不正や不当な点がなかった、また、市議会議員になれる以前の言動のこととはいえ、今回の一連の大住氏の言動は、市民や当時の議会議員に対し誤解や不快感を与えるもので、大変無責任で容認できるものではなく、今後、市議会でも対応することを求める。